

薬学研究院 生化学

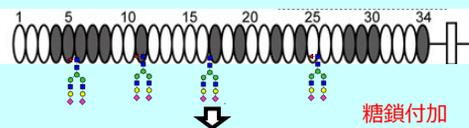
教授：伊藤 素行、准教授：殿城 亜矢子、助教：溝口 貴正

生化学研究室では、発達異常、がん、老化、記憶障害などの病気に関わる細胞間の情報伝達に着目しています。体の中での遺伝子の働きを調べるのが容易なモデル生物であるゼブラフィッシュやショウジョウバエ、さらにヒトの細胞などを用いて、細胞間情報伝達の異常により病気になる仕組みの解明と創薬への応用を目指して研究を行っています。

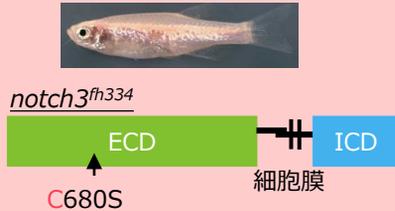
【研究プロジェクト】

細胞間情報伝達異常による病態解明—脳血管疾患CADASIL病態—

培養細胞を用いたCADASIL型
変異NOTCH3の蓄積機構の解明



CADASIL認知症ゼブラフィッシュ
モデルを用いた病態解析

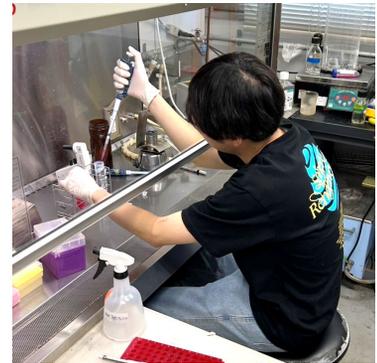
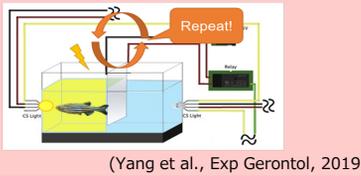


ストレスや老化による記憶・睡眠低下機構の解明

ショウジョウバエを用いた
加齢や過食に伴う記憶・睡眠低下機構の解明

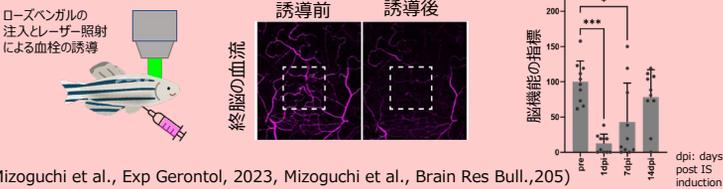


ゼブラフィッシュモデルを用いた
記憶解析



脳梗塞モデル動物の開発と病態解析

ゼブラフィッシュ脳梗塞モデルの開発と脳機能回復メカニズムの解明



その他進行中の研究テーマ

- Notchシグナルによるがん細胞遊走や増殖への寄与
- 代謝異常モデル動物の開発と病態解析
- ストレス、過食や高脂肪食摂取による脳機能への影響解析

教員3名（伊藤教授、殿城准教授、溝口助教）・大学院生12名、学部生14名（うち留学生6名）が在籍し、日々楽しく真剣に研究に取り組んでいます。

私たちの研究室では、他大学や他分野からの学生も積極的に受け入れています。異なるバックグラウンドを持つ学生が集まり、多様な視点を共有しながら研究を進めることで、新しい発見や革新的な成果を生み出す環境を目指しています。

連絡先：千葉大学大学院薬学研究院 生化学 教授 伊藤素行

E-mail: mito@chiba-u.jp

HP: <https://sites.google.com/faculty.gs.chiba-u.jp/pharm-biochem>